

連続講座 「改憲問題を考える」第3弾

青年法律家協会弁学合同部会神奈川支部では、昨年からの改憲問題を考える連続講座を開催し、日本国憲法が果たしてきた役割などをみなさんと一緒に考えて参りました。

昨年12月6日、多くの国民が反対の声を上げる中、安倍政権のもとで、「特定秘密保護法」が衆行採決により成立したことは記憶に新しいところです。

もはや、安倍政権が、「国家安全保障会議（日本版NSC）」と「国家安全保障基本法」等と一体の戦略として、「戦争ができる国」作りを目指していることが明らかになっています。

そこで、今回は、日本の安全保障問題に詳しい軍事ジャーナリストの前田哲男氏にお越し頂き、現在の情勢を踏まえ、軍拡路線を採る安倍政権が何を狙っているのか、憲法9条が変えられてしまったら何が起きるのか、そして、私たちは、日本やアジアの平和と共存共栄のために何をすべきなのかについて、幅広い視点からお話しを伺い、引き続いて、防衛問題に詳しい共同通信編集局編集委員の石井暁記者にも参加していただき、お話しを伺います。

第1部 基調講演 前田 哲男 氏（軍事ジャーナリスト）

安倍軍拡戦略と憲法9条の危機

～「自衛」のためにどこまで行くの？～

第2部 パネルディスカッション

パネリスト 前田 哲男 氏

石井 暁 氏（共同通信編集局編集委員）

コーディネーター 太田 啓子 弁護士

日時：2014年3月14日（金）

18:00（開場17:30）

場所：横浜市開港記念会館

6号室（定員110名）

※参加費無料・予約不要。

主催 青年法律家協会弁学合同部会神奈川支部
（憲法を擁護し、平和と民主主義及び基本的人権を守ることを目的に法律研究者や弁護士によって設立された団体です。）

共催 自由法曹団神奈川支部
神奈川労働弁護団

お問い合わせ

事務局長・弁護士小花和史（横浜みなみ法律事務所）
（連絡先 TEL045-861-7411）

